

単  
元  
名

## 割合のグラフ

教科書出版社名（ 啓林館 ）

○ 小中学校（ 5 ）年 教科等（ 算数 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・グラフの特徴や分類、整理の仕方について理解する。
- ・帯、円グラフの読み取り方について理解し、生活や学習に活用しようとする。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・年鑑等の資料から、さまざまなグラフを読み取り、社会の中には統計的なグラフが多くあることを理解する。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…本や年鑑等に掲載されているグラフからわかることを読み取る。
- 整理・分析…グラフからわかったことをノートにまとめる。
- まとめ・表現・発信…わかったことを共有し、全体で発表する。

○ 学習の展開（全7時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次 （1時間）	・既習事項「割合」や「グラフ」の復習をする。
第2次☆ （4時間）	・帯、円グラフの仕組みを理解し、読み取る。 ・データの表をもとに帯、円グラフを書く。 ・複数のグラフから情報を読み取る。 ・さまざまな資料の中にあるグラフからわかることを考える。
第3次 （2時間）	・クラスでアンケートを取り、グループで帯、円グラフを作成する。

(本時 5 / 7 時)

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい さまざまなグラフをから、データを読み取る
--------------------------------

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点	
5	<b>1. 前時の学習を振り返る。</b> 3つのデータの読み取り方や帯、円、折れ線グラフの特徴について復習する。  <table border="1" data-bbox="354 860 1173 936"><tr><td>さまざまなグラフから、データを読み取る</td></tr></table>	さまざまなグラフから、データを読み取る	・様々なデータからわかることについて考える。
さまざまなグラフから、データを読み取る			
5	<b>2. 年鑑の中にあるグラフを提示し、どんなことがわかるのかを話し合う。</b> 「グラフの表題」「単位」「目盛り」「データの種類」をもとに話し合う。	・本と書画カメラを活用して、いくつかのグラフを提示し、データの表し方の多様性を比較し、ちがいに気づくことができるようにする。	
30	<b>3. 全体発表</b>		
5	<b>4. 本時の振り返り</b> グラフからどんなことを読み取ることができたのか、さまざまなグラフを見て気づいたことや感じたことについてふりかえる。		

図書館活用  
ポイント

